

APインキ 2000 シリーズ

(乾燥性の比較データ)

【試験条件】

試験インキ: AP 2007 白
 添加剤: JA-950 硬化剤 10%添加
 希釈溶剤: テトロン標準溶剤 15%
 基材: アルミ板
 刷版: 250メッシュ
 耐溶剤性試験: 99.5%-エタノール、酢酸エチル、荷重=500gf/cm²、カナキン綿布3号でのラビング
 耐溶剤性評価: ◎…100回異常なし ○…70~99回で剥離 △…30~69回で剥離
 ×…0~29回で剥離

初期物体温度…25°C

高速乾燥炉…DRF-1タイプハイブリット式乾燥コンベア

バッチ炉…BOXタイプ熱風循環式乾燥炉(OFW-450B)

【各乾燥条件での耐溶剤性比較】

	ランプ数	遠赤外出力	温風	硬化時間	99.5%エタノール		酢酸エチル	
					当日	1日後	当日	1日後
バッチ式	—	—	120°C	20分	◎(100↑)	◎(100↑)	△(30)	△(60)
↑	—	—	100°C	60分	△(50)	○(75)	×(25)	△(60)
高速乾燥炉	4灯	100%	80°C	5分	◎(100↑)	◎(100↑)	△(30)	△(60)

()は剥離した時の回数

【その他の物性比較】

項目	内容	バッチ式	高速乾燥炉
		120°C 20分	
接着性	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100 剥離なし	100/100 剥離なし
耐衝撃性	デュボン式衝撃試験 φ1/2インチ、500g、50cm	塗膜の割れ、剥離なし	塗膜の割れ、剥離なし
鉛筆硬度	手押し式試験機法 荷重750g 傷の有無で判定	2H	2H
耐湿熱性	60°C 95% 120hr	異常なし	異常なし
耐酸性	5%硫酸、24hr	異常なし	異常なし
耐摩耗性	学振式耐摩耗試験器、カナキン3号綿布 荷重500g、5000往復	光沢変化あり、塗膜に傷付きあり、剥離なし	光沢変化あり、塗膜に傷付きあり、剥離なし

※記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

※記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。